

はじめに

岐路に立つ愛媛

1. 時代の変革期に直面する愛媛

縮小する日本 急速に成長するアジア 行財政制度改革 持続可能な社会の構築  
心のつながりの再認識と新たな絆

2. 開花が期待される愛媛の潜在能力

多様な産業構造 良質な生活環境 誇れるアイデンティティ 豊かな自然

基本理念

愛のくに 愛顔(えがお)あふれる愛媛県

前向きな気持ちと思いやりの心が結集した「愛顔」の輪を広げ、心の充足と物質的な充足が調和した愛媛ならではの幸せのかたちを見つけ、創ることができる愛媛の実現を目指す。

愛媛づくりの方向性(新たな価値観の創造に向けた視点)

あらゆる場面で“つながり”を大切にしながら、愛媛ならではの価値観を創造するための4つの視点

幸せ実感愛媛の実現

人と人とのつながりが  
実感できるコミュニティを  
幸せの出発点に据える

オリジナル愛媛の創造

愛媛ならではの彩りを  
組み合わせ、オリジナリティ  
あふれる色彩を放つ

愛媛コーディネートの確立

愛媛のあらゆる強みを  
“コンパクト”“ワンセット”に  
集約、融合

ニュー・フロンティア愛媛の追求

未来志向を持った  
県民の情熱が、適材適所で  
行動力となって発揮

4つの愛顔づくりへの挑戦(目指すべき将来像)

【産業】

活力ある  
開かれた産業を  
“創る”

イノベーションの促進

生き活きとした愛顔  
あふれる愛媛

【暮らし】

快適で  
安全・安心の暮らしを  
“紡ぐ”

福祉や医療など暮らしの  
セーフティネット充実

やすらぎの愛顔  
あふれる愛媛

【人づくり】

未来を拓く  
豊かな人財を  
“育む”

自己実現の機会充実

輝く愛顔  
あふれる愛媛

【環境】

地球環境の保全に  
貢献する調和と循環を  
“守る”

環境の意識高揚と  
保全拡大

やさしい愛顔  
あふれる愛媛

地域の愛顔づくりへの挑戦(地域づくりの考え方)

推進姿勢

えひめ力を総結集した県政推進 ～ 挑戦・連携・創造が拓く未来に向かって ～

1 挑戦 —— 既存システムの改革に向けた大胆かつ果敢な“挑戦”

2 連携 —— 最大の効果を生み出すネットワーク構築に向けた“連携”

3 創造 —— 新たな政策と戦略の“創造”

計画策定の背景

1 策定の趣旨

県民のみなさんと一緒に目指す愛媛の  
将来像を描き、その目標に向き最善の航  
海するための羅針盤として策定。

2 性格と役割

県民、市町、県庁組織それぞれの  
役割と取り組むべき方策を提示。

3 計画の構成と期間

基本構想:10年後の将来ビジョン  
基本計画:4年間のアクションプラン  
( 年次戦略方針を別途策定 )

4 愛媛の将来予測(2020年(平成32年推計値))

人口・世帯・交流人口 経済 圏域別人口・総生産

## 基本理念「愛のくに 愛顔あふれる愛媛県」について

我が国は、急速な少子高齢化と本格的な人口減少を始めとする大きな構造変化に直面しています。また、自然の猛威による大きな試練が立ちはだかる中で、誰も経験したことのない未知の時代を迎えようとしています。

どのような時代になるのか、確度を持って予想することは困難ですが、少なくとも、これまでのような右肩上がりを前提とした発想や経験が通用しない厳しい時代になることは明らかです。

愛媛の未来について、バラ色の夢ばかりを描くことはできませんが、そうした時代だからこそ、県民と共有できる将来像をしっかりと描き、県民の幸せを唯一最大の判断基準に、広域的な視点で他県とも連携・協調を図りながら今後の愛媛づくりを進めたいと考えています。

そのために、まずは、地域に根付いた活力ある産業を創り、生活の基盤となる働く場をしっかりと確保したうえで、日々の暮らしにおける不安を取り除き、より質の高い生活を送ることができる愛媛の実現を目指します。

そして、愛媛が将来にわたって発展することができるよう、子どもたちを愛媛の未来を担う人“財”に育てるとともに、地球環境の保全にも貢献する愛媛を実現したいと考えています。

その道程が極めて険しいものになることは覚悟しなければなりません。我々は、これまでの歴史の中で数多くの困難を克服し、その都度、逆境を乗り越えるための力を身につけてきました。

今まさに、その力が試されようとしています。

戦後、経済的な豊かさを満たすことに価値判断の軸足を置き、発展を求め続けた中で、忘れられつつあると言われてきた心のつながりが、今でも多くの人々の心の中にしっかりと根を張っていることを我々は再認識しました。

また、そのつながりが苦難に直面した現状を克服し、未来を切り拓くための大きな力になることを改めて実感しました。

そして、その力は、再生のための“新しい絆”へと深化すべく、更なる拡大・成長の兆しを見せています。

これからは、“自分は一人ではない”という思いを誰もが共有し、勇気を振り絞って、立ち止まることなく、誇りと希望が持てる愛媛の創造に力を注がなければなりません。

また、愛媛の先人たちが培ってきたおもてなしの心で、お互いに助け合い、支え合いながら、明日を信じて、前向きに、ひたむきに努力することから始めなければなりません。

「愛顔」とは、そうした前向きな気持ちと思いやりの心が結集した愛のある笑顔です。

激動の時代の中で、いかなる困難が眼前にあるとしても、県民に芽生えた新たな価値観からすばらしい愛顔が生まれ、一つの愛顔が新たな愛顔を育み、やがては、県下一円にその輪が力強く、大きく広がっていく。そうした愛媛を県民の皆さんといっしょにつくっていきたいと考えています。

「愛のくに 愛顔あふれる愛媛県」という基本理念は、その思いを込めて描いた愛媛の将来像を表すものであり、これを実現することが、必ずや、心の充足と物質的な充足が調和した愛媛ならではの幸せのかたちを多くの県民の皆さんがを見つけ、それを創ることができる愛媛につながると確信しています。

## 愛媛の未来づくりビジョン【仮称】(骨子)

### はじめに

#### 岐路に立つ愛媛

#### 1 時代の変革期に直面する愛媛

##### (1) 縮小する日本

戦後、豊かさを実現 バブル崩壊後、世界の中で相対的に縮小、埋没。閉塞感が蔓延  
本格的な人口減少、急速な高齢化 広範かつ深刻な影響

##### (2) 急速に成長するアジア

グローバル化 ヒト、モノ、カネが世界中を自由に移動  
超巨大市場であるアジアに世界が注目、期待 国内産業は空洞化

##### (3) 行財政制度改革

中央集権型のシステムの制度疲労 地方分権型社会づくりに向けた動きが本格化

##### (4) 持続可能な社会の構築

地球規模の環境破壊 あらゆる分野で環境配慮の視点必要  
高度成長を経て公害問題に対応 培った日本の技術はビジネス創造のアドバンテージ

##### (5) 心のつながりの再認識と新たな絆

物質的な豊かさを追求 家族や地域のつながりが希薄化  
国難に直面する中で人と人とのつながりの大切さを再認識 新たな絆への兆し

#### 2 開花が期待される愛媛の潜在能力

##### (1) 多様な産業構造

個性的で重層的な産業集積が地域ごとにバランス良く配置  
互いに高め合い、相乗効果を発揮することが重要

##### (2) 良質な生活環境

温暖な気候、時間的なゆとりに恵まれている。  
生活に密着した都市機能などにおける地域間格差の解消が重要

##### (3) 誇れるアイデンティティ

継承されてきた伝統や文化、地域に密着したプロスポーツなど貴重な資源が存在  
未来に引き継いでいくことが我々の使命

##### (4) 豊かな自然

四季折々で多彩な美しさを放つ自然が豊富

### 基本理念

「愛のくに 愛顔あふれる愛媛県」

## 愛媛づくりの方向性（新たな価値観の創造に向けた視点）

愛顔を生み出す新たな価値観を創造するための4つの視点。

- 1 幸せ実感愛媛の実現  
社会が成熟化し、価値観、幸せの尺度は個性化、多様化  
人と人とのつながりを幸せの出発点に
- 2 オリジナル愛媛の創造  
個性を組み合わせる真のオリジナリティを發揮  
前例踏襲、縦割り・縄張り意識などを捨て、周囲との差別化、過去との決別を図る
- 3 愛媛コーディネートの確立  
集約化（コンパクト）と一体化（ワンセット）の視点で効果的に機能を發揮
- 4 ニュー・フロンティア愛媛の追求  
既存の制度、仕組みの修正では限界 未来志向を持って果敢に開拓

## 4つの愛顔づくりへの挑戦（目指すべき将来像）

- 1 活力ある開かれた産業を“創る” 「生き活きとした愛顔」  
多彩な産業の融合や産学官・農商工連携 新産業、優れた技術、海外展開、イノベーション  
地域の魅力向上、ブランド力の高い産品 愛媛のファンづくり  
交通ネットワークの整備 など
- 2 快適で安全・安心の暮らしを“紡ぐ” 「やすらぎの愛顔」  
新しい絆による多様な主体の協力・連携  
高齢者、障害者への良質な医療・福祉サービス  
快適でセーフティネットが充実した安全・安心の暮らし など
- 3 未来を拓く豊かな人「財」を“育む” 「輝く愛顔」  
子育て・子育てに最適な地域社会、学びの場を形成 未来を拓く人財の育成  
自己実現の機会充実（生涯学習、文化創造）  
スポーツを通じた地域活性化（国体開催、プロスポーツ） など
- 4 地球環境の保全に貢献する調和と循環を“守る” 「やさしい愛顔」  
環境の意識高揚、保全活動の拡大と更なる探究 地球環境に貢献する調和と循環の保守  
環境ビジネスの展開 環境保全と産業活動の好循環 など

## 地域の愛顔づくりへの挑戦（地域づくりの考え方）

- 1 基本方針  
地域の多様性を活かす。磨きあげ、つなぎ合わせ、新しい活力を創造  
生活圏の広域化、地方分権の進展等を踏まえ東・中・南予の3地域を想定  
現行6地域：宇摩、新居浜・西条、今治、松山、八幡浜・大洲、宇和島
- 2 地域別の振興方策  
東予地域：ものづくり産業の戦略的展開 など  
中予地域：観光、文化などの拠点性向上と県下全域への波及 など  
南予地域：情報発信力の強化による交流促進や農林水産業の振興 など

## 推進姿勢

### 「えひめ力を総結集した県政の推進」

～ 挑戦・連携・創造が拓く未来に向かって ～

「地域力」「探究力」「人財力」「共奏力」などを『えひめ力』として総結集

- 1 既存システムの改革に向けた大胆かつ果敢な“挑戦”
  - 地方分権改革の実現
  - 機能的かつ最適規模の組織体制構築
  - 持続可能な財政構造の確立
- 2 最大の効果を生み出すネットワーク構築に向けた“連携”
  - 基礎自治体への総合的なサポート。役割分担の明確化と一体感の醸成
  - 県民やNPO（非営利活動団体）など多様な主体の協働・連携を促進
  - 広域連携の推進
- 3 新たな政策と戦略の“創造”
  - 職員の意識改革。政策形成機能の強化
  - 政策マネジメントシステムの構築

## 計画策定の背景

- 1 策定の趣旨
  - 先行き不透明な時代だからこそ、目指す将来像と航海のための羅針盤が必要
- 2 性格と役割
  - 愛媛の未来を切り拓く意志と県政への参画意欲を醸成
  - 市町と連携して愛媛の魅力と活力を創出
  - 真に必要な行政サービスを重点的かつ効率的に提供
- 3 計画の構成と期間
  - 基本構想 概ね10年後の将来ビジョン
  - 基本計画 4年間の中期アクションプラン
  - 重点戦略方針 毎年度作成する方針
- 4 愛媛の将来予測（2020年（平成32年推計値））
  - 人口・世帯・交流人口
    - 県総人口：1,340千人程度（2010年比：91千人、6.4%）
    - 一般世帯：570千世帯程度（2005年比：11千世帯減 1.9%減）
    - 交流人口：73,880万人程度（2005年比：6,945万人減 8.6%減）
  - 経済
    - 県内総生産（実質）：5兆4,500億円程度（2008年比：2,008億円増 3.8%増）
    - 就業者総数：648千人程度（2008年比：57千人減 8.1%減）
    - 一人当たり県民所得：250万円程度（2008年比：21万円増 9.2%増）
  - 圏域別人口・総生産
    - 人口減、高齢化とともに南予地域のペースが最速
    - 総生産は東予地域と中予地域で回復基調。南予地域は伸び悩み